

令和7年度(2025年度)第3回函館市地域包括支援センター運営協議会 会議録

- **開催日時** 令和8年(2026年)3月26日(木) 18:30~19:25
- **開催場所** 函館市役所8階 大会議室
- **会議内容**
 - 1 開 会
 - 2 議 事
 - (1) 地域密着型サービスの運営に関する事項
 - ア 地域密着型サービス事業者等の指定等について …………… 資料1
 - (2) 地域包括支援センターの運営に関する事項
 - ア 第1号介護予防支援事業および指定介護予防支援の業務の一部を委託
できる指定居宅介護支援事業所の選定について …………… 資料2
 - イ 令和7年度(2025年度)地域包括支援センター事業評価(国)に
ついて …………… 資料3
参考資料1
 - ウ 令和8年度(2026年度)函館市地域包括支援センター運営方針に
ついて …………… 資料4
参考資料2
 - 3 その他
 - (1) 「福祉拠点」自立相談支援機関実績報告および事例発表 …………… 資料5
当日配付資料
 - 4 閉 会
- **出席委員** (9名)
齋藤征人会長, 船橋優子副会長, 川口篤也委員, 川村曜補委員, 工藤晃士委員, 柏原美之委員, 張磨仁委員, 村田亮二委員, 高森秀雄委員
- **欠席委員** (2名)
二本柳美夏委員, 渡部良仁委員
- **地域包括支援センター** (10名)
あさひ 四戸管理責任者, こん中央 佐々木氏, ときとう 長谷山管理責任者,
ゆのかわ 佐々木管理責任者, たかおか 松野管理責任者, 西堀 赤石管理責任者,
亀田 常野管理責任者, 神山 酒井管理責任者, よろこび 澁谷管理責任者,
社協 井口主任
- **傍聴者** 9名
- **市関係者(保健福祉部)**
(福祉拠点担当) 山岸主査, 建部主査
(介護保険課) 高木課長, 若崎主査
(指導監査課) 米澤主査
- **事務局(地域包括ケア推進課)**
田中課長, 辻屋主査, 石黒主任, 高村主任技師

○ 会議要旨

1 開 会

2 議 事

(1) 地域密着型サービスの運営に関する事項

ア 地域密着型サービス事業者等の指定等について

齋藤会長

地域密着型サービス事業者等の指定等について、説明願いたい。

米澤主査

(資料1「地域密着型サービス事業者等の指定等について」に基づき説明 ※当日差し替え資料)

齋藤会長

ただいまの説明について、意見・質問等はないか。

特にないようなので、協議会として意見がないということで、次にまいりたい。

(2) 地域包括支援センターの運営に関する事項

ア 第1号介護予防支援事業および指定介護予防支援の業務の一部を委託できる指定居宅介護支援事業所の選定について

齋藤会長

第1号介護予防支援事業および指定介護予防支援の業務の一部を委託できる指定居宅介護支援事業所の選定について、説明願いたい。

若崎主査

(資料2「第1号介護予防支援事業および指定介護予防支援の業務の一部を委託できる指定居宅介護支援事業所の選定について」に基づき説明)

齋藤会長

ただいまの説明および資料2について、意見・質問等はないか。

特にないようなので、協議会として意見がないということで、次にまいりたい。

イ 令和7年度(2025年度)地域包括支援センター事業評価(国)について

齋藤会長

令和7年度(2025年度)地域包括支援センター事業評価(国)について、説明願いたい。

事務局

(資料3「令和7年度(2025年度)地域包括支援センター事業評価(国)」に基づき説明)

齋藤会長

ただいまの説明について、意見・質問等はないか。

特にないようなので、協議会として意見がないということで、次にまいりたい。

ウ 令和8年度（2026年度）函館市地域包括支援センター運営方針について

齋藤会長

令和8年度（2026年度）函館市地域包括支援センター運営方針について、事務局から説明願いたい。

事務局

（資料4「令和8年度（2026年度）函館市地域包括支援センター運営方針（案）」に基づき説明）

齋藤会長

事務局の説明および資料4について、意見・質問等はないか。

特にないようなので、協議会として意見がないということで、次にまいりたい。

3 その他

(1) 「福祉拠点」自立相談支援機関実績報告および事例発表

齋藤会長

『福祉拠点』自立相談支援機関実績報告および事例発表に関して、事務局から報告願いたい。

事務局

（当日配布資料「令和7年度『福祉拠点』自立相談支援機関相談実績（4月～R8.1月分）」に基づき説明）

地域包括支援センターこん中央 横山氏

（当日配布資料「多職種連携で広がった生活再建の支援」に基づき説明）

※上記資料は協議会終了後回収

齋藤会長

ただいまの報告について、意見・質問等はないか。

特にないようなので、この件については以上としたい。

実績報告と事例発表ありがとうございました。

その他、高森委員から事前にお話を伺っていたため、ご発言願いたい。

高森委員

令和8年2月27日に函館市地域包括支援センター連絡協議会と北海道精神保健福祉士協会道南ブロックの共催による研修会についての報告と、それに伴う提案をしたい。

研修会には、精神保健福祉士協会会員として私も参加した。前半は、これからの新しい制度の取り組みである、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム（いわゆる「にも包括」）について、精神保健福祉士協会から報告があった。後半は、「地域で生活している精神疾患が疑われる方について」をテーマに、地域包括支援センター自立相談支援機関福祉拠点から事例提供が行われ、「単身高齢者のごみ屋敷状態のケース」および「高齢者世帯でひきこもりの息子がいるケース」の2事例の報告とグループワークが実施された。

この研修会を通して、地域包括支援センターの皆様がさまざまな研修機会を活用しながら、他機関・他職種との連携やコミュニケーションを大切にされ、多忙な業務の中にあっても地域課題や支援課題の解決に真摯に向き合っているということがわかり、日頃のご尽力に対し、心より敬意と感謝を申し上げたい。今後も引き続き、他機関・他職種との連携を継続し、さらに深めていただけたらと思っている。

その上で、この研修会に関連して、令和8年度函館市地域包括支援センター運営方針の資料4 P8「6留意事項（1）職員の資質向上」には、「センターは、職員に対しスーパービジョンを活用し、サポートおよび指導を行う」と記載されている。また、参考資料1 P1「2組織・運営体制」「4センター職員の人材確保および育成を図る」のEには、「スーパービジョンまたはコンサルテーションが受けられる体制を整えているか」という項目があり、全センターで実施しているとの評価が示されており、これは大変意義のある内容である。その一方で、実施方法や頻度の詳細については把握していないが、現状では主として個別支援を前提としたパーソナルスーパービジョンが中心になっていると感じている。

今回の研修会は、事例提供による検討会であると同時に、見方を変えればスーパービジョンの要素を含む実践の場としても捉えられるのではないかと感じた。スーパービジョンには、一般的なパーソナルスーパービジョンのほか、グループスーパービジョン、ピアスーパービジョン、コミュニティスーパービジョンなど、さまざまな形がある。これらは、人材確保や人材育成の面で意義を有するだけでなく、地域包括支援センターにおける利用者支援の質の向上にも資するものと考えられる。したがって、各センター内での体制整備に加え、函館市全域のセンターを視野に入れたスーパービジョン体制のあり方について、事務局が統括的な観点から検討することも、今後の運営の中で考慮される余地があるのではないかと考えている。ついては、この件について検討し、次回の運営協議会において現状や今後の方向性について説明いただければ幸いである。

齋藤会長

資料4 P8「6留意事項（1）職員の資質向上」に関連して、高森委員が出席した研修会が単なる研修会ではなく、スーパービジョンの要素があるのではないかと考えており、それを含めて、個別のセンターの体制整備ではなく、全センターを視野に入れた市の取り組みとしてスーパービジョンの体制を考えることはできないかというご提言であったと思う。

この件について、事務局から回答があればお願いしたい。

事務局

貴重なご提言をいただき、誠にありがとうございます。

地域包括支援センターの職員の資質向上については、市としても、大変重要なことと認識している。運営方針の中の「6 留意事項」に記載しているが、その他にも、毎年、事業ごとに提出されるセンター職員のキャリアラダーを基に、センターとともに研修計画を策定している。

本市においても、高齢化の進展や8050問題等、問題が複雑化していることから、センターへの期待や役割が年々大きくなっていると感じており、職員の実践力向上がより求められる状況となっている。センターにおいては、市とセンターと一緒に策定した研修計画に基づく研修のほか、独自の研修計画に基づき、パーソナルスーパービジョンのほか、センター内研修や事例検討などのグループスーパービジョン等も取り入れて、職員の資質の向上に取り組んでいる。

今後の方向性としては、引き続き、センターと市が、センター職員に求められるスキルや専門性を共有し、対応能力の向上を図ることが必要であり、そのことが職員の精神的負担を軽減し、離職の防止にもつながると考えるため、センターとともに、職員の資質向上に努めたいと考えている。

高森委員

丁寧な説明ありがとうございました。

「スーパービジョン」は世の中にあまり定着していない取り組みであり、これから様々な職能団体や職場で活用されると考えられるため、今後とも検討願いたい。

齋藤会長

その他、意見・質問等はないか。

(特になし)

今回の高森委員の発言は事前に連絡があり、事務局から回答を用意した経過があった。委員の皆様も協議会の場では思いつかないことも、日頃、思うことがあれば、メモをして、事前に事務局に連絡をしていただけると、委員と事務局とのキャッチボールができ、広く深めることができるため、各委員の皆様にはご協力をいただけたらと思う。

(閉会)